

平成13年1月12日

**「獣医学教育の抜本的改善の方向と方法に関する研究」の報告書**

岐阜大学農学部獣医学科

研究分担者（源 宣之）

本研究の一環として、研究分担者は岐阜大学農学部獣医学科の教官と共同して活動してきた。活動の概要および成果は次の通りである。

1. 学科内活動（H.12年4月7日）

獣医学教育の改善と獣医学科再編整備（以下、教育改善・再編問題と称す）について、東4大学（帯広畜産大学、岩手大学、東京農工大学、岐阜大学）懇談会で討議している。この枠組みとは別に、東京大学と北海道大学も加えた6大学で、本問題についての勉強会を持つこととした。

2. 東4大学懇談会（H.12年5月26日）

小森、平井、工藤、北川の4名が出席した。

3. 学科内活動（H.12年5月31日）

(1) 6月中に東北大学の応用動物系の教官を訪問することとした。

この訪問では、1) 獣医学教育を受け入れる場合の東北大の基本的な姿勢・考え方、2) 農学部が発足する委員会の性格・目的、3) 我々の獣医学教育カリキュラムについての感想、などを平たい気持ちで聞くことを目的とする。こちらからはどのような要望もしないこととした。

(2) 横断的評価委員会委員の選出

全国獣医学関係大学代表者協議会の標記委員会の委員として、岐阜大からは工藤忠明教授を推薦することとした。

\* 工藤教授の標記委員会（H.12年7月16,17日、札幌ガーデンパレス）出席のため旅費として、本科研費を充てた。

4. 学部内活動（H.12年6月5日）

学外における教育改善・再編問題の現状について、学科長が中村征夫農学部長に説明した。

5. 学科内活動（H.12年6月14日）

(1) 農学系学部長会議の下部委員会として、改善・再編問題を検討する臨時委員会（世話役：北大・藤田獣医学部長）の議事要録が、学科長から紹介された。

また、上記議事要録を受けて発信された全国獣医系大学代表者協議会会長・唐木先生のコメントも紹介された。

(2) これらの情報をもとに、再編問題の今後の活動について意見交換をした。

6. 東北大学の訪問（H.12年6月27日）

3名が訪問した。東北大・生物生産学科応用動物科学の教官3名が対応した。  
懇談の中で、東4大学が揃って東北大に獣医学部を構築するのは極めて困難との印象を持った。

この印象を含めた懇談の概要を後日獣医学科教官に配布した。

#### 7. 学科内活動（H.12年7月5日）

(1) 先の東北大学訪問の結果を受けて、「東4大学が揃って東北大に獣医学部を構築する」という可能性に固執するのは、教育改善・再編の全国的枠組みを作る上で得策ではないと判断した。

(2) 協議の結果、これまでの東4大学の枠組みを越えた方法で教育改善・再編問題に取り組むこととした。

#### 8. 中村農学部長と獣医学科長との懇談（H.12年7月10日）

先の東北大学訪問の報告とその後の獣医学科の活動方針等を説明した。

#### 9. 学科内活動（H.12年8月10日）

(1) 農学部長獣医系臨時委員会（7/16）の議事録、九大私的懇談会に関する加藤メモ、中村学部長メモおよび中村学部長の再編問題に関する基本方針について、学科長から説明があった。

(2) これらを参考にして協議した結果、東4大学の枠組みを柔軟あるいは解除するための活動を開始することとした。

(3) また、東4大学の枠組みが解除されたことを前提として、別の形の東北大学案を検討することとした。

その基本戦略は、「岩手大獣医学科 + 岐阜大獣医学科 + 東北大応用動物系 = 獣医畜産学部（仮称）」とすることとした。

#### 10. 東4大学懇談会と東3大学意見交換会（H.12年9月9日）

(1) 東4大学懇談会では次の2点が承認された。

本懇談会は開店休業とする。ただし、必要に応じて開催する。

今後の各大学の活動に縛りをかけない。

(2) 東3大学意見交換会

岩手大（7名）農工大（3名）岐阜大（13名）の出席者のもとで、各学科の今後の活動方針等について意見交換を行った。

どの大学も「基準協会基準を最低規模とする教育組織」を視野に入れている。

11. 学科内活動（H.12年9月14日）  
今後の取り組みを協議した。
12. 学科内活動（H.12年10月16日）  
（1）「国公立大学獣医学協議会等の概要」について、学科長から説明があった。  
（2）11月10日に東6大学（東大・北大と東4大学）の懇談会が予定されていることを受けて、意見交換をした。  
（3）中村農学部長が学部長会議の臨時委員会に提示した再編の基本方針も十分配慮して、活動することを確認した。
13. 西4大学獣医再編問題の現状についての説明会（H.12年10月30日）  
標記の説明会を下記の要領で開催した（資料を添付）。  
講師：徳力幹彦教授（山口大学大学院連合獣医学研究科長）  
場所：農学部第1A会議室  
日時：10月30日 午後2時～3時  
主催：獣医学科  
大学本部の事務官を加え、約30名の出席者があった。
14. 岩手大、岐阜大、東北大の3校会談（H.12年10月21日）  
標記の会談を下記の要領で行った。  
場所：東京弥生会館  
日時：10月21日 16時～18時  
出席者：岩手大獣医学科（2名）、岐阜大獣医学科（4名）、東北大応用動物科学科（2名）  
東北大応用動物系に次の案を受け入れる可能性の有無を検討していただくよう、依頼した。  
「岩手大獣医学科 + 岐阜大獣医学科 + 東北大旧畜産系 = 新研究科（新学部）設置」  
この案が東北大に受け入れられなければ、岐阜大獣医学科としては現状判断からして、東北大志向とは全く別の方策を模索することも伝えた。  
\* この会談のための旅費および会議室使用料の一部を本科研費から支出した。
15. 学科内活動（H.12年11月1日）  
東6獣医大学会議（11月10日開催予定）参加に向けて、その基本姿勢について協議した。

16. 学科内活動（H.12年11月2日）

（1）先の3校会談（岩手大、岐阜大、東北大）で依頼した課題に対する回答が東北大・応用動物科学科から来た。回答はネガティブであった。

（2）この結果を受けて、学科としては東北大学案は一時ペンディングして、別の教育改善・再編の道を探ることとした。

17. 東6獣医大学会議（H.12年11月10日）

（1）小森、北川、工藤、平井の4名が出席した。

（2）国立協議会では、現在、3～4大学に集約することになっているが、3大学（東に関しては2大学）では良いのではないかとの考えが出された。但し、受け皿論ではなく、新設置論で事を運ぶこととした。各大学で3大学集約の是非を12月16日までに決めてくることとした。

\*この会議のための旅費・滞在費の一部を本科研費から支出した。

18. 学科内活動（H.12年11月30日）

東6獣医大学会議から出されている宿題「3～4校を3校にする是非」について協議し、現状では「3校案」に賛成することとした。

19. 東6獣医大学会議（H.12年12月16日）

（1）小森、北川、工藤、平井が出席した。

（2）「3校案」に賛成の旨を伝えた。

\*この会議のための旅費の一部を本科研費から支出した。

20. 学科内活動（H.12年12月19日）

（1）学科内で検討してきた新獣医学教育の理念およびカリキュラム（案：資料を添付）が出来上がったので、今後の再編問題などについての話し合いに活用することとした。

（2）また、獣医関連のホームページや獣医学科のホームページなどを通して広く公開していくこととした。